もくじ

まえがき 2

chapter 1 自分が見える「青」は、本当にみんなと同じ？ 10

1-1 今日の空は見事な青空ですよね……あれ、そうですよね？
雲一つないきれいな空は何色？ 11
周りの人は、本当にあなたと同じ色を見ている？ 13
他人の行動やふるまいから、他人の感覚そのものを理解できる？ 15
行動やふるまいが同じでも、感覚そのものは……？ 18

1-2 青いって言ってるんだから、青に決まっている？
言葉は確実に感覚そのものを指し示す、という反論 21
感覚そのものを規定する言語上のルール 23
でも他人の感覚は結局わかんないままなんですよね 26

1-3 知覚に関わる最新科学でも無理ゲー!?
科学の力でマルッと解決できる？ 30
人間の認知・心を解き明かす科学の方法……行動主義、そして機能主義 33
原因、結果を追究する機能主義で、感覚そのものは解き明かせる？ 37

1-4 子供っぽくてくだらない問い？ いえいえ十分にくだります
言葉や記号で「説明する」という方法だけでは×？ 42
感覚そのものと石ころの違いとは？ 44
脳の中で感覚そのものを発見できる？ 48
視覚、聴覚の神経系を盗んでしまえばよい？ 52
機能主義、物理主義による説明が通用するのは、石ころのようなものだけ？ 56

chapter 2 クオリアの謎とは？ 62

2-1 現代哲学の難問、クオリアとは？
感覚そのもの＝クオリアを扱う哲学領域——心の哲学 63
感覚そのものについて考えた哲学者……ネーゲル、チャーマーズ 66
チャーマーズが考えたクオリアを主張する上での三つの制約 69
クオリアのカタログをどうぞ 75

2-2 「ハードプロブレム」としてのクオリア
「心」における二種類の概念 80
現象的概念に対してとられがちな対応 84
科学・物理学が行おうとする「還元的」説明 87
クオリアは還元的な説明ができる？ 88
「ハードプロブレム」としてのクオリア 90
クオリアは物理的なものと因果関係を持つ？ 93
クオリアと自然法則 98

2-3 言語の言うことを聞かないクオリア
「熱」と「痛み」の科学的説明 103
科学的な説明で生じる「説明のギャップ」 106
ものごとに対する「本質的な説明」とは？ 109
科学的発見によっても必然性が成立 112
「説明のギャップ」が意味すること 116
機能主義・物理主義的説明から逃れるクオリア 118
クオリアは脳の「子分」ではありそうだけど？ 120
クオリアは「自然的に」脳の子分になる!? 124

chapter 3 クオリアは科学・物理学の説明には収まらないとする立場 128
3-1 コウモリであるとはどういうこと?—クオリアと「私」
動物もクオリアを持っていそう? 129
コウモリであるとはどういうこと? 132
自分しか内容がわからないクオリア、誰でも内容を理解できる知覚構造 134
「クオリアを説明すること」に生じる難問 137
3-2 メアリーは何を知ったのか
トマトの色を異様なほど細かく識別できるフレッドの例 140
知覚構造の説明では理解できないフレッドのクオリア 142
生まれて初めて「赤」を見たメアリー 145
このときのジャクソンは随伴現象説 148
非物理的であり、かつ超自然的ではない 151
3-3 ゾンビとクオリア反転
「論破できるものならやってみなさいよ」という議論 154
クオリアがないゾンビの想定が矛盾なく思考可能? 157
色相環に合わせて色感覚が逆転する「反転スペクトル」の例 161
色が反転している地球 165
chapter 4 クオリアは科学・物理学で対応できる、とする立場 170
4-1 感覚そのものとは「能力」である……能力仮説
スカンクのおならの臭い、ベジマイトの味 171
クオリアの存在を認めると、結局随伴現象説みたいになるからダメ!? 174
クオリアを知るとは「能力を得ること」 177
4-2 表象としての知覚体験
知覚を表象で理解する 181
クオリア・心の見方を180度変える表象論 185
クオリアとは透明なもの 189
クオリアの概念化 or 非概念化 191
4-3 今は無理でも今後に期待! という見方
クオリア論の論拠を逆手に取る!? 197
今後に期待できる理由とは 201
いつそのこと、クオリアの理論を科学・物理学とみなす? 206
まとめ——クオリアをめぐる六つの立場 210
クオリアをめぐる議論の分類 211
あとがき 217
参考文献 221